

# 医療における国民のリスク認知と意思決定に関する研究

康原夏子<sup>1)</sup> 岡本左和子<sup>1)</sup> 和田千津子<sup>1)</sup> 植原慶太<sup>2)</sup> 濱田美来<sup>2)</sup>  
尾花尚弥<sup>2)</sup> 今村知明<sup>1)</sup>

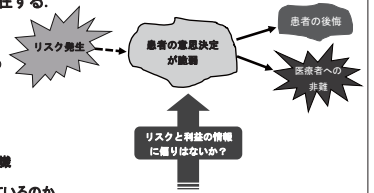
<sup>1)</sup>奈良県立医科大学健康政策医学講座  
<sup>2)</sup>株式会社三菱総合研究所

## 研究目的

▶目的: 患者への医療の利益とリスクの周知(リスクコミュニケーション)が十分であるかの検討。

▶背景: 医療には常に不確定要素(リスク)が存在する。

患者の Informed Decision を実践するためにリスクと利益を含めた情報が偏ることなく提供されている必要がある。



▶検討項目:

1. 医療における利益とリスクに関する患者の認識
2. 認識をもとに、患者がどのように意思決定しているのか
3. 医療に関する情報の周知が十分であるかどうか

## 方法

▶対象: 20歳以上の国民898名——医療従事者を除く

▶調査方法: インターネットによるアンケート調査

(予防接種・手術を受けることへの意思を、情報のない段階から徐々にリスクと利益に関する情報を与えていき、段階的な意思の変化を比較・検討した)

▶実施時期: 2014年3月

▶回収率: 898名回答 / 2,501名配布 (回答率35.9%)

▶解析方法: 帰属情報の分析...  $\chi^2$ 検定  
予防接種・手術を受ける意思の変化の分析... McNemar検定  
by SPSS version 22

## 質問項目

(インフルエンザ予防接種 風疹予防接種 白内障手術)

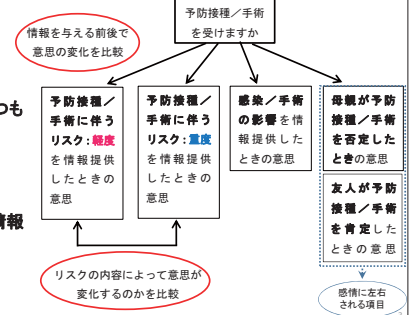
▶所属情報

性別 年齢 居住地域 職業 世帯年収 学歴  
未成年の子どもの有無

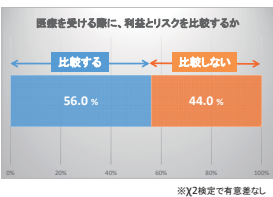
▶医療を受ける際に利益とリスクをいつも比較するか

▶予防接種/手術を受ける意思  
まずは情報を与えず、その人が持っている情報で判断

▶予防接種、手術、感染に伴うリスク情報を提示したときの受ける意思



## 結果(1)

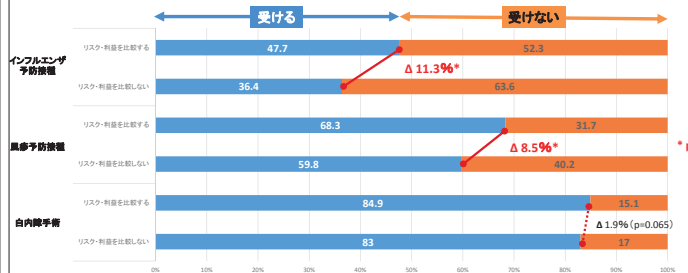


回答者全体の平均年齢は  
44.6歳

性別	医療を受ける際に利益とリスクを比較するか		
	比較する	比較しない	
男性	52.9%	46.4%	
女性	47.1%	53.6%	
年齢	平均 43.8歳	45.6歳	
未成年の子ども	有 29.5%	28.0%	
職業	就業者	67.0%	60.9%
	専業主婦(夫)	22.7%	20.1%
	学生	7.8%	4.2%
	無職・その他	12.5%	14.8%
世帯年収	300万円以下	17.2%	14.6%
	300～400万円台	25.3%	28.3%
	500～700万円台	23.1%	23.2%
	800万円以上	15.4%	15.2%
	わからない/答えたくない	19.1%	18.8%
学歴	中・高・専門学校卒	43.7%	48.8%
	短大・4大卒	50.1%	43.9%
	大学院修了	5.9%	6.6%
	その他	0.3%	0.7%

## 結果(2)

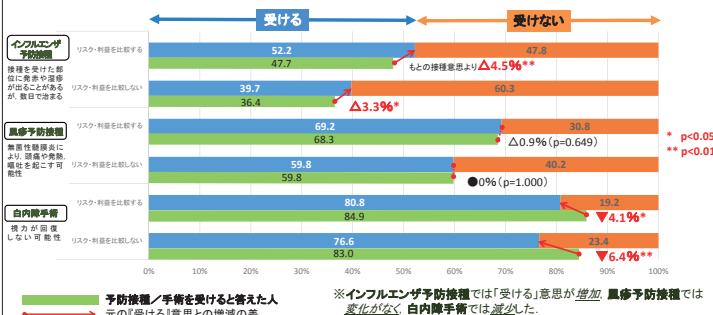
まずは情報を与えず、その人が持っている情報で判断  
《予防接種/手術を受けますか》



※インフルエンザ・風疹予防接種では「いつもリスクと利益を比較する人」の方が受ける意思は高し、白内障手術では「リスクと利益を比較する人」比較しない人」の間に差はみられなかった。

## 結果(3)

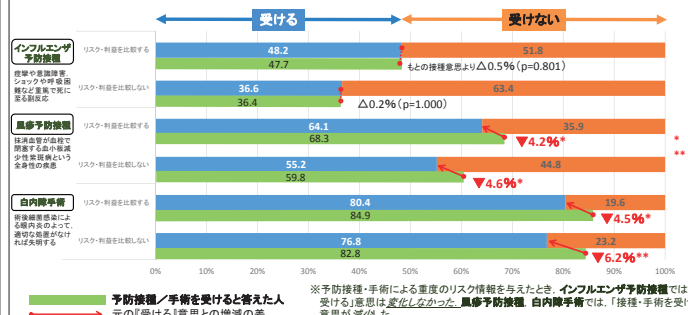
軽度のリスクを提示したとき (McNemar検定で分析)  
もとの《予防接種/手術を受けますか》との比較



※インフルエンザ予防接種では「受ける」意思が増加、風疹予防接種では変化がなく、白内障手術では減少した。

## 結果(4)

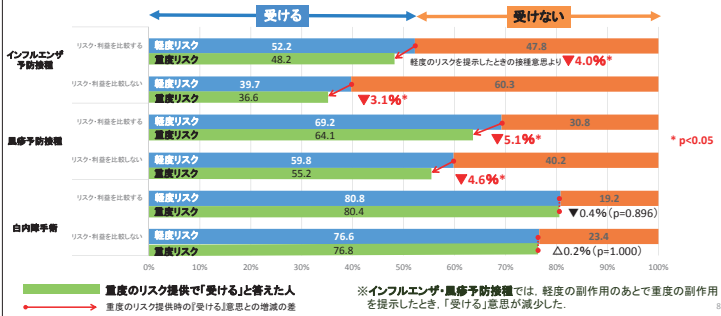
重度のリスクを提示したとき (McNemar検定で分析)  
もとの《予防接種/手術を受けますか》との比較



※予防接種・手術による重度のリスク情報を与えたとき、インフルエンザ予防接種では「接種を受ける」意思は変化しなかった。風疹予防接種、白内障手術では、「接種・手術を受ける」意思が増えた。

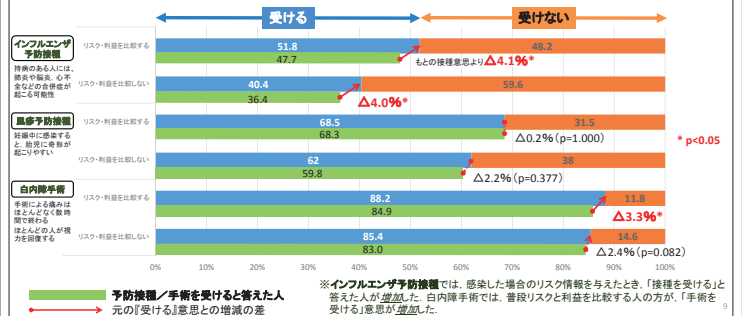
## 結果(5)

《軽度》と《重度》のリスクを提示したとき (McNemar検定で分析)  
リスクの内容による意思の変化を比較



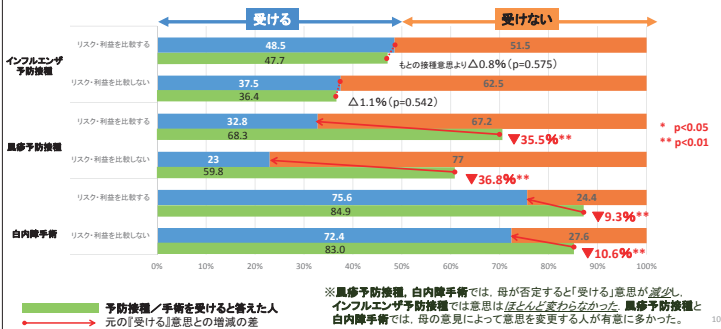
## 結果(6)

感染時/手術を受けた際の影響に関する情報を提供したときの意思 (McNemar検定で分析)  
もとの《予防接種/手術を受けますか》との比較



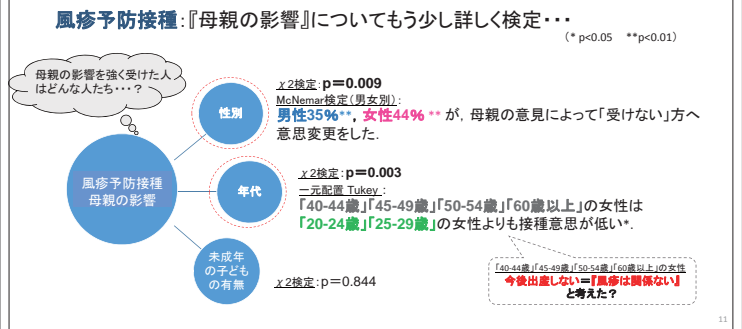
## 結果(7)

母親が予防接種・手術を受けることを否定したときの意思 (McNemar検定で分析)  
もとの《予防接種/手術を受けますか》との比較



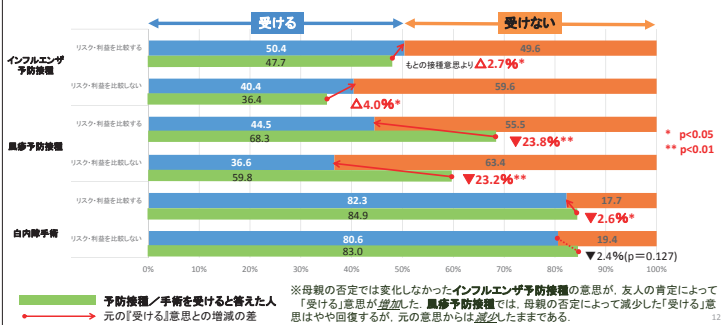
## 結果(8)

母親が『風疹予防接種』を受けることを否定したときの意思  
母が「子どものときに罹ったことがあるので受けなくてもいい」と否定したとき



## 結果(9)

友人が予防接種・手術を受けることを肯定したときの意思 (McNemar検定で分析)  
もとの《予防接種/手術を受けますか》との比較



## 考察

- 風疹予防接種、白内障手術では、リスクを提示した際に「受ける意思」が低下する。  
➢ 効果への期待が大きく、リスクの認識が不十分
- インフルエンザ予防接種は、軽度のリスクを提示すると接種意思が高くなる。  
➢ 副作用のリスクを実際より深刻に捉えている
- 重度のリスクや母親が接種を否定したときは「受ける意思」が変化しない。  
➢ インフルエンザ予防接種への意思が既に固まっている人が多い
- 風疹予防接種と白内障手術では、母親が接種を否定した際に接種意思が低下する。  
➢ 風疹では、感染時のリスクに備って情報が認識されている  
⇒ 妊娠期の感染で胎児に影響を及ぼし、近年社会問題となった。
- 母親の影響  
➢ 白内障手術では、平均44.6歳の回答者には馴染みがなく、母親の意見が意思決定に影響している。  
➢ 40歳以上の女性「母親が否定すれば接種しない」…「うつす側」になるかもしれない。
- 友人の影響  
➢ インフルエンザ予防接種では友人の意見で「受ける」意思が増加… 家族よりも友人の意見の方が影響力が強い  
➢ 風疹予防接種では、否定的な意見(母からの否定的な意見)を聞くと、その後肯定的な意見(友人からの肯定的な意見)を聞いたても元々の受意意までは回復しない… 母親の影響力が大きい

## 限界

- インターネットを使わない人を除外している
- 調査実施時期がインフルエンザのピーク時期でない
- 回答者の平均年齢が44.6歳であり、白内障に関連した内容に実感がもてなかった可能性がある

## 結論

今回調査の対象としたインフルエンザ予防接種、風疹予防接種、白内障手術において、

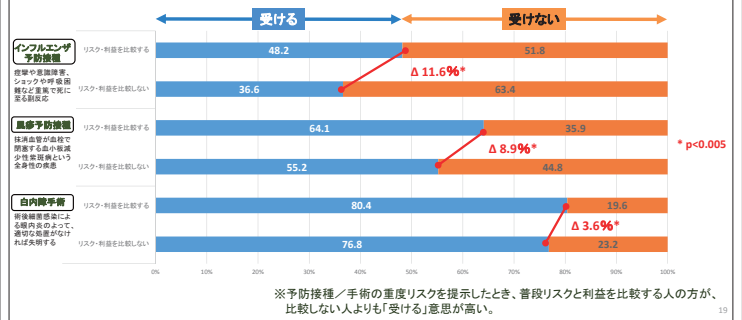
- 情報がバランスよく周知されていない
- 患者のリスク認識に偏りがある
- 意思決定の障壁になる可能性

が考えられる。

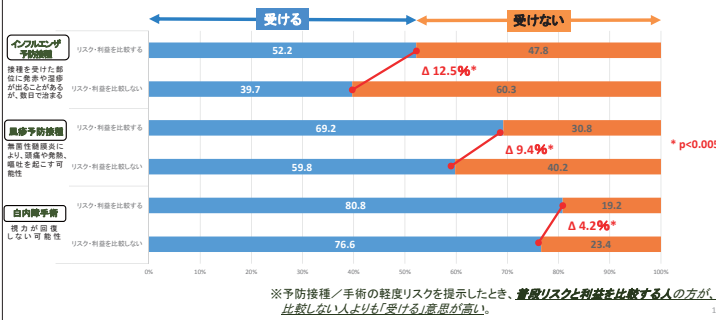
# ご清聴ありがとうございました

本研究は  
平成26年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基礎研究(C)  
「患者の医療リスクの理解と納得のための要因と行動変容までのプロセスに関する研究 26460610」  
の一環として実施したものである

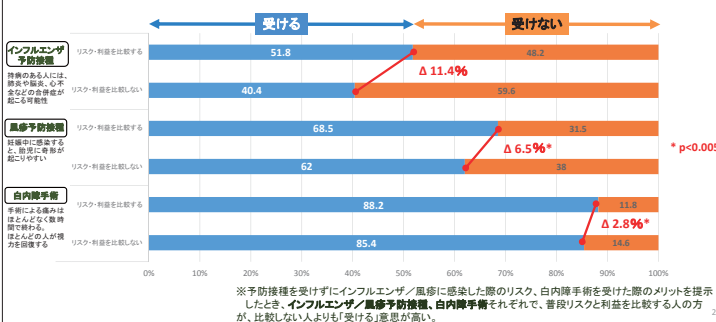
## 結果(B) 予防接種/手術のリスク(重度)を情報提供したときの意思 《予防接種/手術を受けますか》



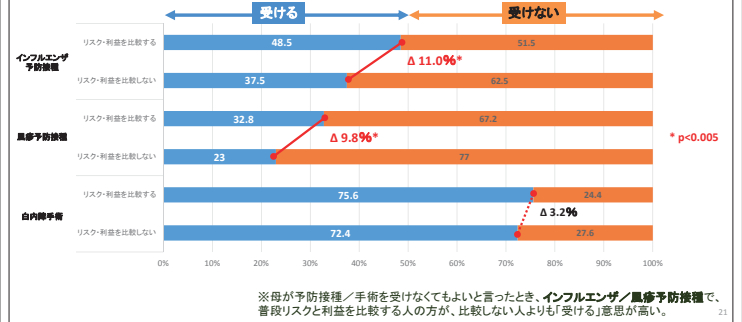
## 結果(A) 予防接種/手術のリスク(軽度)を情報提供したときの意思 《予防接種/手術を受けますか》



## 結果(C) 感染時/手術を受けた際の影響に関する情報を提供したときの意思 《予防接種/手術を受けますか》



## 結果(D) 母親が予防接種/手術を受けることを否定したときの意思 《予防接種/手術を受けますか》



## 結論

- 風疹予防接種や白内障手術では、患者が抱く効果への期待が大きく、予防接種や手術に伴うリスクの認識が不十分。
  - 風疹の予防接種や白内障手術そのもののリスクに関する情報提供が不十分である。また、それらのリスクに関しては、患者の理解まで至っていない。特に風疹に罹患した際の影響(妊娠中の風疹感染による胎児への影響)に関する情報のインパクトが強く、予防接種によるリスクの正確な情報が行きわたっていない。
  - 風疹予防接種や手術といった、受けなかった場合に起こりうる身体への影響が強調される医療では、予防接種や手術を受けたときのリスク(危険性)の可能性に関する情報の提供に、より一層の重点をおく必要がある。(リスクコミュニケーション)
- インフルエンザの予防接種では、接種を受けるか否かの意思決定がすでにできている人が多い。
  - 予防接種を受けないとした人へのインフルエンザ対策としては、予防接種以外の感染予防策の普及が必要である。
- 経験者(母)からの助言が意思決定に影響した可能性。
  - 風疹は妊娠出産に関連した健康問題であり、出産をすでに経験している人(母)からの助言・意見が、意思決定に影響しやすい。
  - 白内障手術に関しても、疾患の対象者となりうる年代の母親の助言・意見が意思決定に影響しやすい。